

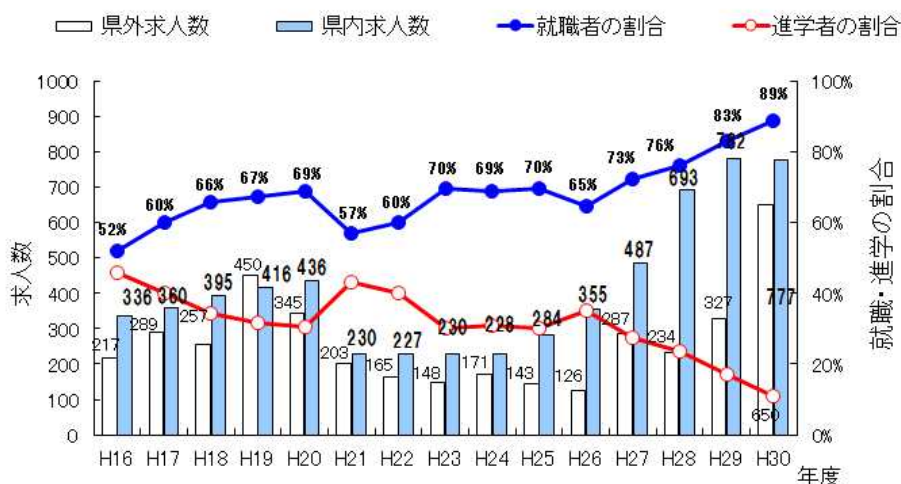
## 平成30年度「進路の状況」について 進路指導部

### 今年度の概況

昨年度から本校への求人数が増加しています。特に来校での求人企業が大幅に増え栃木工業高への期待が高くなりました。求人数増加の理由としては職場の若返り、技術の継承、平成20年秋のリーマンショック以降採用計画ができなかった等でした。職種としては設備の保全(メンテナンス系)の求人が大幅に増加しました。

また卒業生の活躍があり本校生を採用し、現場を任せられる人材を育成したいと話をする企業も多かったです。

### 求人数と就職・進学割合

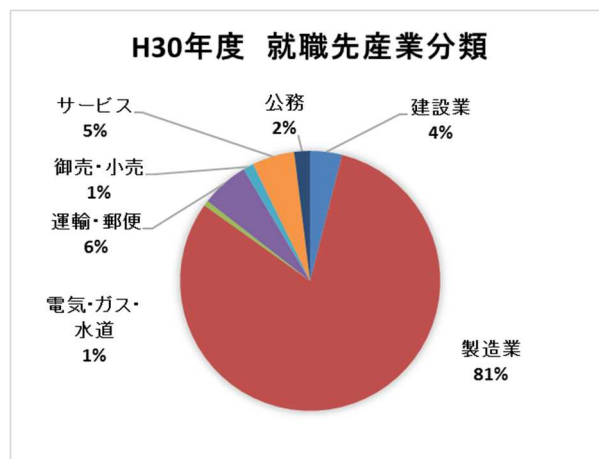


#### (1) 就職

卒業生 197 人のうち、民間就職希望者 173 名が内定し、公務員にも 2 名が合格し 175 名が仕事に就くことになりました。右側図は就職砂金産業分類別人数のグラフです。就職者の約 80%が製造業に就きます。

今年度は早々と全員内定しており、地元の企業に就職を希望する生徒が増えたこともあり地域から本校生への信頼が引き続き維持されているものと感じます。

入学時から卒業後の進路は就職と決めている生徒も多く、今年度の就職率は約90%となり年々就職率が高くなってきています。



#### (2) 進学

大学進学者が 10 名、専門学校等への進学者が 10 名と約 20%の生徒が進学をしています。本年度は、国立大学には群馬大学に1名の生徒が挑戦しAO入試で合格しました。全体では工学系が過半数ですが、将来はスポーツの指導者を目指したり、自分自身が競技を続けるための進学も目立ちます。ここ数年の傾向として、学費に関する相談や悩みが増えています。